

令和5年度先進校等調査研究事業の派遣研修報告書の発行にあたって

日立市教育研究会長 高畠 幸浩

日立市教育研究会は、主体的な研修の機会を設定し、本市教育の振興と会員の資質の向上を目指して、各種事業並びに専門部研修を行ってきました。

中でも、「先進校等調査研究事業」は、創意を生かした特色ある教育活動の充実のために、最新の科学技術を教育現場に取り入れている学校や、著名な教育理論を元に実践研究を推進している学校などを、所属校を離れて直接視察する研修です。

現地では、そこで学ぶ児童生徒の様子や、同じ教育に携わる先生方の指導法や、日頃の苦労や喜びを直接感じ取ることができます。また、先生方が持ち帰った成果は所属校での教育活動に反映させると共に、報告書を元にした研修により同僚の先生方も先進校の研究のエッセンスを学び、ゆくゆくは本市の教育振興に大きく影響する大変実効性の高い事業です。

したがって、この報告書は、研修に参加した先生の学校だけのものではありません。これらを元に会員相互が情報を交換して、次の時代の社会を築く主役である児童生徒のため、ぜひ効果的な実践に取り組んでもらいたいと考えます。

学校現場では、行事の見直しや ICT の導入、部活動の社会スポーツへの移行など、労働環境として量的な部分でだいぶ軽減され、教員の一番の職務である授業に集中できる環境が整いつつあります。一方で毎年のように発生する自然災害への対応や、急速な社会の変化に合わせた学習指導要領の見直し、学校の統廃合、経済困窮者の増加、教員のなり手不足など、依然、解決へのハードルが高いものもあります。しかしながら、日々時計の針は進み、児童生徒は未来へと着実に成長していきます。だからこそ、私たち会員は、日立市の教育の基本理念である「未来を拓く人づくり」を心に留め、常に「児童生徒」を意識し、保護者や地域からの支援を受けていることを忘れずに、地道な自己研鑽を繰り返しながら、指導力を高める必要があります。

このところ、コロナ等の感染拡大もだいぶ落ち着き、教育活動も以前のように正常に行えるようになってきました。また、先生方の創意工夫が活かされた活動やさまざまな働き方改革も各校で進んでおり、ますます会員の皆様の活躍が期待されます。

今年度は、次世代の教育振興を考えて、先進校への派遣人数を大幅に増やしました。そのため、中核として各校で活躍を期待される先生方が、自ら希望した全国の先進校等に視察に行くことができたと聞いております。そして、帰校後は、一段と教育活動への意識が向上し、校内でも研修の主軸として活躍されていると話題になりました。これらのことから、研究会の諸先輩方から受け継いできました本事業のねらいとその成果が大いに発揮されたものとして、大変嬉しく思いました。

結びになりますが、先進校等調査研究事業の推進に当たり、派遣する会員を快くご推薦いただいた校長先生方、所属校の会員の皆様、そして研修体制を強く後押ししてくださいました日立市教育委員会の皆様に深く感謝申し上げます。

そして、一番には、先進校に視察に行かれた会員の皆様、毎日大変お忙しいところ、丁寧な報告書をまとめてくださりまして、ありがとうございました。次世代に残すべき大変有意義な報告書だと考えております。お世話になりました。